

部が直接統括する分科会の設置について

分科会名： 生命科学における公的研究資金のあり方検討分科会

1	担当部及び関係委員会名	第二部
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	我が国における生命科学研究の多くが国家予算によって支援を受け、その推進は科学研究費補助金をはじめとする公的研究資金に大きく依拠している。近年では最先端研究開発支援プログラムや最先端・次世代研究開発支援プログラムなどにも大きな予算が割り当てられ、また日本学術会議でも多額の研究予算を必要とする学術の大型研究計画のあり方について検討が進められている。研究に投資される資金の増加は歓迎すべきものであるが、その一方で、現行の研究資金の配分方法を見ると、人文社会科学、生命科学、理工学の区別なく画一的な制度が適用され、研究種目ごとに申請上限額が一定に設定されている場合がほとんどである。そこには、例えば粒子加速器や大型望遠鏡のような巨大設備は必要としないが、中規模の測定器を数多く必要としたり、細胞の培養に日々相当のランニングコストがかかったりするという生命科学の特徴は考慮されてこなかったように見える。科学研究費補助金については制度改革が進み、研究現場の要望がかなり取り入れられてきた今日、人文社会科学、生命科学、理工学それぞれの学問的特徴という点にまで配慮した、研究支援制度や研究費配分制度の確立が強く求められている。このような観点から生命科学における公的研究資金のあり方を学術会議第二部において集中的に検討し、適切な提言を政府、社会に行うことは重要な課題である。
4	審議事項	我が国の生命科学研究を支援する公的研究資金の現状を分析し、研究現場の要望を反映したより効率的で総体として効果の挙がる研究費配分方法等を検討し、合理的なあるべき姿に係る審議に関すること
5	設置期間	時限設置 平成24年10月26日～平成26年9月30日
6	備考	※新規設置